



2021年12月22日

各 位

会社名 株式会社 ラキール
 代表者名 代表取締役社長 久保 努
 (コード番号：4074 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 管理管掌 上席執行役員 西村 浩
 コーポレート本部長
 (TEL. 03-6441-3850)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年7月16日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で開示した2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,809	百万円 402	百万円 346	百万円 223	円 銭 32.94
今回修正予想(B)	5,809	525	465	297	42.98
増減額(B-A)	—	122	118	73	
増減率(%)	—	30.3	34.1	33.0	
(参考)前期連結実績 (2020年12月期)	5,331	254	243	139	22.45

2. 修正の理由

2021年12月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大による不透明な経済情勢が続く中、「ウィズコロナ」に適したビジネス形態への移行の必要性が認識され、企業のDXへの関心はより高まっていくものと見込んでおりました。

このような見通しのもと、当社グループは次世代クラウド型デジタルビジネスプラットフォーム LaKeel DXを中心とした関連サービスを拡充、企業のDX化を積極的に推進することでプロダクトサービスの高い成長を実現し、連結売上高について前回業績予想の達成が見込まれる状況となりました。

利益面においては、人材採用費等、コロナ禍における諸施策見直しにより販管費が前回予想を下回る見込みとなったことで、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

※上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上